

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 63-1151

会長：宗田 市太郎 幹事：平尾 信明

情報委員長：清水 忠

1977・3月31日

第87号

京都洛北RC訪問の成果



国際会館の見学を御案内いただいた折、ベランダに立って川名さんが説明される眼下、指呼の内に、洛北RCのテリトリー（区域）が展開する……山紫水明の田園都市的展望が半島のように延びて、比叡の山ふところに連らなり、八瀬、大原の幽境、三千院、寂光院、大徳寺、光悦寺更には名だたる修学院離宮など、古都の史的ふる里はこの界隅であろうか。金沢北RCとの類似点をここにも見出して、この環境から生まれるであろう“心のうるおい”が、やがて

両クラブ共通の美点となることを念じて止まなかった。

“京大和”の早朝、目がさめるままに表庭に出ようと玄関に来ると、源田さん(初代幹事)、川名さん(2代幹事)、3代目で現在の北尾幹事さんが、揃って一夜をここの一室に待機し、過ぎたことを知って恐縮。その心遣いに感銘を禁じ得なかった。

前夜の両クラブ合同懇親会では、洛北RCの殆んど全員が参加しておられたようだが、クラブの行事には全員が“集いて図る心はひとつ”の実践が見受けられ、その指導力と和協一致の心に敬服した。

私は改めて思う。洛北との友好提携は誤りでなかった……と、むしろ喜びと責任感を強めた。今や両クラブの交流は一巡して基礎固めが出来たので、今後は一段と友好を進めつつ、ロータリーを学び合う所期の念願へ結実を祈って止まない。派手に流れて実を忘れては永続きはしない。謙虚に心と心のふれ合いに努めたいものである。

一方、わがクラブの参加者は、こんどの訪問の旅によって、一つのバスの中に7時間を共にする交流が展開した。一つ屋根の下に寝食を共にする付き合いがあった。あの人、この人の知らざる面にも接触して、理解と友情が芽ばえ、発展したであろう数々があったと思う。参加することの意義と、ロータリーの功德を多くの人は再発見したことであろう。こんどの洛北訪問には、二重の収穫と喜びがあった。

“親睦と友好”のポリシーの中で、この収穫と喜びを実現したわれらが宗田会長に、心からの拍手を贈りたい。

(柴田三郎記)

京都の町を訪れて

土原 弘子

「お相伴をどうぞよろしく」京都駅前夜行バス組と汽車組とが賑々しく挨拶をかわしながら合流。京都洛北クラブ会長御夫妻や会員多数の出迎えを受け一行はバスに乗りこむ。先ず観光客で賑う早春の都大路を車は北上する。さしづめ平安の昔なら糸毛の車を牛に牽かせるところか。最初は東本願寺にお参りし門信徒の私達は先祖に対して肩身を広くした感じ。引きつづき少し離れた所にある法主の別邸釈穀邸へ歩を運び、白梅がちらほら咲くひっそりした池泉廻遊式庭園を拝見、わびのある静かな京都の一面を見て感懐一入。

それから更に北上し、比叡山を背景に洛北の景勝地宝池畔に立つ伝統的な合掌造りの様子を現代建築に生かした国立京都国際会館へ着く。

ここは世界の人々の会議の殿堂として静かに栄光の輝きを放っていました。収容能力 2,000人を誇る大会議場をはじめ、六ヶ国語同時通訳装置等只々感心して見学、余りの広さに皆様大分お疲れになった御様子でしたが、外国の人々の好みにマッチした日本固有の様子を沢山とり入れた御苦心には感嘆致しました。それより金閣、竜安寺と廻りましたが、どこへ行っても岡田様が御専門の関係上くわしく御説明下さいますので、とても勉強になりました。例えば石庭でも石の数が15あるのにどこから数えても、1つかくれて14にしか見えな

いとか、又バックの堀のわびの色を特にしっかり見る様にとのこと、興味深くながめました。神秘的なまでの「わび」「さび」の色が数日経った今もはっきりと焼きついております。幸いお天気にも恵まれ、朝早く家を出たので少々疲れ気味となりましたが4時半頃「京大和」へ着きました。目の前に夕陽に映えた八坂の塔を見た時は、余りの自の前に夕陽に映えた八坂の塔を見た時は、余りの素晴らしい絶景に引きつけられて疲れもみんなけしとんでしまい、夕やみせまる京都を見下しながら本日の観光を充分思い出し参加出来た幸せを感謝し、懇親会場へ入りました。京都洛北クラブの皆様有難うございました。



親睦ゴルフ大会について

山上 啓介

午前零時10分、ゴルフ参加者と一部奥方さん達を乗せて貸切バスは出発。生爪をはがしてゴルフに参加出来ずにくやしがる浅田夫妻の見送りと、差入れを受けて一路琵琶湖カントリーへ。

車中差入れの酒と、温ったかいシューマイをパクツキながら賑やかにバスは行く。午前6時ゴルフ場着、しばらく車内にて仮眠、全員茶屋でクロワッサン風のパンとコーヒーで朝食を取り、そして本番前の練習をしたり、洛北担当者と内合せをしたりして、玄関前で全員揃って記念写真を取った。

午前9時半、当クラブ員9名、洛北クラブ紅1点を含めて総勢28名、琵琶湖コース、スタートテ

ィグランドに集合、当クラブ幹事平尾さんの始球式でコンペが始まりました。その賑やかな事……気温は低いが雲一つない日本晴、お互いに今年の雪の話、今年始めてクラブを握った等々、土地貧乏を嘆き、牽制しながら順調な足どりで進んで行く。

コースは27ホール、さすが名門だけにコンパクトにまとはっており箱庭の様に美しく、池が多くて距離もそこそこ、たくさんのバンカーがグリーンを堅くガードしており、始めて廻る人にとっては大変だろう。



ハーフを終り、各自注文の昼食をとり、次の三上コースへと進む、途中熱くなりセーターやカーディガンを脱ぎ、それでも無事18ホールを廻った。決果は散々。1・2・3の上位は洛北クラブで占められ昨年のお返しをされた。それでも4位佃さん5位は小生、飛賞20位の松本さん、それとハーフ37を出した小生のベストグロス賞と、当クラブ若手で占められた事は上出来であった。

ゴルフがすんで全員洛北クラブ員の車で京都の懇親会場へと送っていただき、何やかやと終始お世話になり心からお礼を申し上げる次第です。そして表彰式は京大和の会場で行われました。次回からはもっと多くの参加者を希望してやみません。

「京大和」の一夜について

宗田 喜美子

去る12・3日の両日京都洛北ロータリークラブとの御約束で友好の旅にお供させて頂きました。好天に恵れ、名園並に国立国際会館の広大にして隅々にまで国際色豊かな内部を見学、其の他2ヶ所の名園名所を廻り、4時頃早々にお宿であります。“京大和”に入りました。“京大和”は有名な高台寺内にあって、大きい鳥居が目に入り、それを潜りましたようです。私の思違いかも存じませんが、京都にもお寺であり又鳥居があって神仏一体の姿を表わしている名所が、もう一ヶ所あります。

「京大和」之は有名なお料理又お宿でもあるそうです。入口では御接待の男の方は黒ご紋付袴、女の方は一紋色無地のお召物です。田舎者の私はご婚礼の披露宴でもあったのかしらと思い、お邪魔にならぬ様隅に寄らせて頂き、お待合室を見ますと、ご一行の皆様がもう坐ってらして、一安心する中にご紋付の方がお茶を運んで下さいました。そこで納得も致しました。

その中、お部屋へのご案内で、又静かな事、ここが京都かしらとも思い、庭園を眺めますと、もう



そこに八坂の塔が見下せる処、午後6時頃ゴルフの皆様もお着きになり、あわただしく宴会場へ。長い廊下伝いにお部屋が数々ありますので、一々ご案内して頂きますと迷います。会場には多数の洛北RCの皆様方に御婦人ご同伴の方々も交えて盛大にして楽しく、こったお料理に舌鼓していつ尽きるとも無く、又目の保養に舞子さん達の舞に衿あしも美しく、時間の立つのも忘れられました。宴終って若き皆様方は二次会へと楽しそうでした。

“Service” I believe in Rotary

明13日も好天にて京大和の庭園でパチリパチリとカメラを取り交わして時間も惜しく。又御当内には勤皇佐幕で有名な坂本竜馬が志士との会合に開いた離れのお部屋がありました。

比の度は洛北の皆様方に至れり尽せりの並々なる御配慮を賜り、只々恐縮のみ感じました次第です。当クラブの皆様にも大変お世話さまになりました有りが度うございました。誌上を借り重ねて厚く御礼申し上げます。併し乍らこの度ご一緒出来なかった北クラブの皆様、誠に申訳なく存じますが秋には御来沢下さる洛北の皆様へ何かと御骨折り下さる様、心から御願ひ申し上げます。



帰路のバスの中で

越野 和加

つきせぬ想いを胸一杯に秘め、バスが旅館京大和を出発したのは予定の11時を稍過ぎていました。これを私達の責任で暫くの時間でも有効に京を味わいたいと京大和の喫茶室に飛び込んだのが原因でした。「女を連れると少しは遅れるものだ」と云う声が痛く耳に響いてきます。洛北クラブの方々が多数見送りに来て居られ誠に心籠った歓待振りでした。京都の町を過ぎた頃からバスの中に朗らかな笑い声が渦巻き車中にはミュージックが流れ洛北クラブの御好意で差入れられたビールとおつまみが配られました。「さあ元気で歌いましょう」浅田さんの司会でのど自慢が始まる。後席から前へと一人残らず年令別拘わり無く、マイクが回されます。空は少し雲り、バスの右側の琵琶湖は美しく白い帆をつけたヨット等春らしい影色を眺められ、左側の比叡の山並には冬の余韻を残し所々に雪が見えます。さすがロータリアン、芸達者なのに驚かされました。歌のレパートリーの広いこと、流行歌あの手この手、ナツメロに唱歌、民謡と又後方席には恰かも落語界の師匠株や広沢虎造が同乗して居るかの如く浪花節に講談まで飛び出して一人終る毎に上品なヤジで車の中に笑い声が溢れます。琵琶湖大橋迄は交通が激しくバスの速度も鈍り勝ちでした。午後1時過ぎ琵琶湖大橋レストランで昼食を摂る。土産品を見て歩いて居ると佃さんが「ウチで作った物も出て居るが高い値段がついて居る」と笑って居られました。再び歌の車となりメアリーさんの英語の歌も始めて聞く事が出来、又ひらかな字なら読み書きが出来る様になった彼女はイントネーション鮮やかに都はるみの北の宿等ほんとうに上手に歌い上げこの機会を通じ北ロータリーの皆様に1年間の成果を御披露した様に感じ私は100点を付けたい気持ちでした。京滋特有の白い瓦の屋根屋根も見えなくなり北陸に入る↑もうガマン出来ません。運転手さん止め



て！」生理現象で悲鳴をあげたのは女性では無くナント男性の方々だったのです。「あと10分もしたら敦賀ですその時に……」しかし10分は長過ぎて残酷だったのでしょう。免に角小さなガソリンスタンドに車は横付けられ3、4人が飛び出して行きました。敦賀過ぎた町外れのドライブインでもう一度停車する。土産物等買った事の無い主人が小鯛の笹漬けを買って車に乗ったのにビックリしました。再びアルコールが差し入れられ、ロータリーの命令には絶対服従とかでマイクは次々回り、会長御夫妻や柴田さんの奥様等も何回ものどを鳴らされると言う事で歌は益々佳境に入り、昨日今日を組み入れた数へ歌等教養の香り豊かな物や全員の謡曲の素謡迄多数多芸です。

再びビールのいたづらの生理現象が訪ずれて尼御前で一旦停車してしまいました。金沢迄あと僅か左手の日本海が薄墨色となり、ポチポチ雨が降り始めました。全員起立し「手に手つないで」を合唱しつつ車は金沢に入ったのです。京から金沢までの7時間退屈な筈なのに幹事さんの御気配りでアット言う間に過ぎ、数限り無い楽しい印象を与えていただきました。

「言は易く行は難し」と申しますが人の和程難かしい物は無いと思いますのにこんなに楽しい思いをしたのはロータリーの旅行だけの様に感じました。

帰りのバスの中で

金沢北RC数え唄

平尾 友栄

「横の方いらっしゃいますか」「ハイ!!」10年前?のおさげ時代に帰った様なバスの中、誰の顔もいきいきと年令も、又何の差別も感じない非常に打ちとけた素晴らしいムードに満ち溢れておりました。写真で残す事の出来ない何かを感じ、瞬間的に唄を作ってバスの中で唄ってみました。

清水さんよりかぞえ唄の原稿を出す様にとの通知を受けました時、このままではとても唄になっ



ていないと思い修正をと、考えましたがスナップ写真に修正は必要がないと思いそのまま掲載する事にしました。唯この唄だけでは欠席の方々には理解が出来ない点もおありと思いますので、説明をつけさせて戴きます。

一つとせ 昼ひなかの日に酒飲んで

小原庄助さん顔負けね。

〔昼食を過ぎた頃より誰ともなくアルコール、おつまみが持ち込まれ、バスの中は宴会のるつぼと化しました。〕

二つとせ 二日に渡ってバスの旅

ますます親睦深めたね。

〔今迄お話しした事のなかった方々ともすっかり打ちとけ、バスならではの収穫だと思いました。〕

三つとせ 見たり聞いたりためしたり

ますます冴えます京(今日)の旅

〔又京都かと思う位良く知っている筈の京都の旅、どうしてどうしてまだ知らない数々の所へ案内して戴き、又岡田会員よ〕



“Service” I believe in Rotary

〔り古い庭園、寺院の建築についての専門的なお話を伺いながらの見学、この旅で少々頭の方もさえたのでは……と。〕

四つとせ 夜の研修も上手だが ひるの研修もなかなかよ。

五つとせ いかにも意張ってる旦那でも 奥さんの前ちゃちょっと弱い。

〔悪くとらないで下さい。普段何となく気むづかしいなァと思っていた方でも、皆様奥さんや、女性には非常に親切でお優しいなァ……と感じましたので。〕

六つとせ 難しい話ちゃ眠っても 酒の話ちゃ目が覚める。

(ごめんなさいね。誰もバスの中で眠っていませんでしたので……。)

七つとせ 涙の出る程笑ったが 奉仕と親睦忘れません。

八つとせ 優しい言葉のツルミさん ビジネス言葉が聞きたいね。

〔持ち前のユーモアと女性的な素晴らしい話術で、私達女性は虜にされておりました。ユーモアを全く必要としない職業柄だけに、どなたか女性の方がツルミさん、お仕事の時の話し方どんなのか知ら？と不思議そうにおっしゃいましたので……。〕

九つとせ 越野の先生ゆかいだね 金沢洛北間違えた。

〔親睦宴会での乾杯のスピーチの時、京都洛北クラブと金沢洛北クラブのますますの……と云い違いされ満場の拍手を受けられました。当の御本人何も気付かず最後まで先生独特の親しみある雄弁でにこやかにスピーチ。きっと間違われたのでなく会場の緊張をゆるめるため親心からわざわざ言い違いされたのだと思っております。〕

十とせ とうとう帰って来ましたね これからますます頑張ろね。

敦賀峠あたりにて

拝啓 京都洛北RC 源田委員長殿

三寒四温とはよく言ったもので梅の便りが聞けるかと思えば突然みぞれに見舞われたりする金沢ですが、其後何如お過しですか。

貴兄のこと故相変らず機関車のごとく驀進中と拝察致し心よりお慶び申し上げる次第です。

さて過日は多勢でお邪魔したにも抱りませず心よりのご接遇に預り、誠に有難く深く感謝申し上げます。

北風吹きぬける金沢駅から2時間半後におだやかな春の光に包まれた京都駅へおりたった時、はたして田舎者の私共が間違いなく約束の時間に落ち合えるかがたいへん心配でした。しかし梅原会長御夫妻をはじめとする貴クラブ旗をかげてのお出迎えをうけそれが全くの杞憂であったことに大変休心したものでした。



“奉仕” ロータリーを私は信奉する



東本願寺大谷家庭園を皮切りとする普段見る機会のない穴場を丹念にご案内していただき徐々に胸がふくらんでいったのはひとり小生だけではございません。それは現役を引退した名ウグイス嬢をわざわざ探し出されて案内役をお引受け戴いたことひとつ取り上げても自づと理解できようというものです。

4年前の荘厳且華麗な貴クラブ認証式を思い出させるに充分だった国際会議場だけでも充分新たな感激を心におさめることができました。

京大和に旅装を解いてからの楽しみは何といってもこれから始まるナイトインキョウトの中身をあれこれ考えることでした。そしてそれは懇親会が始まると同時に想像した以上の素晴らしさに暫時放心状態となった次第です。

まず全員がご出席され、その上名妓をかくも多勢集められたご努力に対しびっくりしました。

認識の浅かった点を深く反省したものです。また二次会の設営にしても期せずして歌合戦が始まった演出や立錫の余地もない程両クラブ会員が集まり、楽しさが二重三重にふくらんでいったのは小生だけではありません。

楽しい実に楽しい春宵の一刻でした。その上会員手づくりのおみやげを——ほんとに心のこもった品々を頂戴致しこれがロータリーの素晴らしさと日頃机上で論じあっている理論を体で把みとったようなリッチな気持になりました。有難うございました。

ともあれ当夜は友好委員会諸兄がご同宿された上、時間のない私共にかわって土産物のお手配ま

でして戴き出発が日曜であったにも抱らず、会長・副会長・幹事殿をはじめ多勢のお見送りに預りお蔭様で私共全員無事帰沢することができました。

此度の親睦会には貴兄をはじめ役員の方々にはまさに心からなる細かいお心配りをしていただき殊に若輩の小生にとっては胸中サースガァとナルホドの連発でした。「和」の力を目のあたりにしたことだけでも大変貴重なカルチャーショックでした。本当に有難うございました。

陽春とは申すものまだまだ不順な天候でございます。ご自愛の程お祈り申し上げます。略儀乍ら先づは御礼まで。

敬 具

金沢北ロータリークラブ

浅田 豊久 拝

